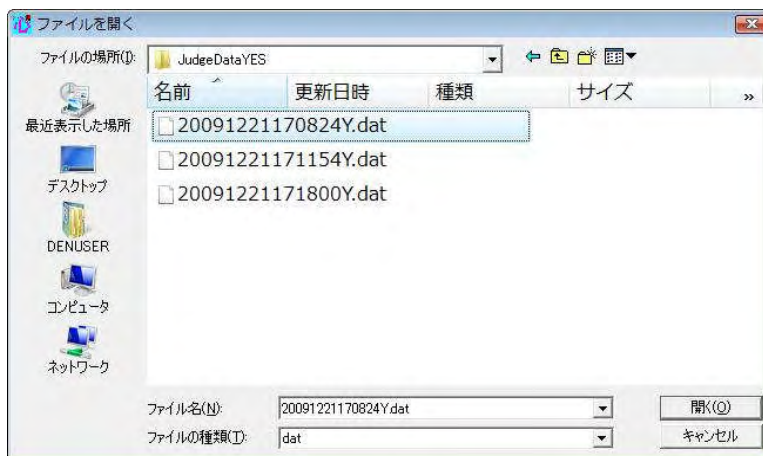
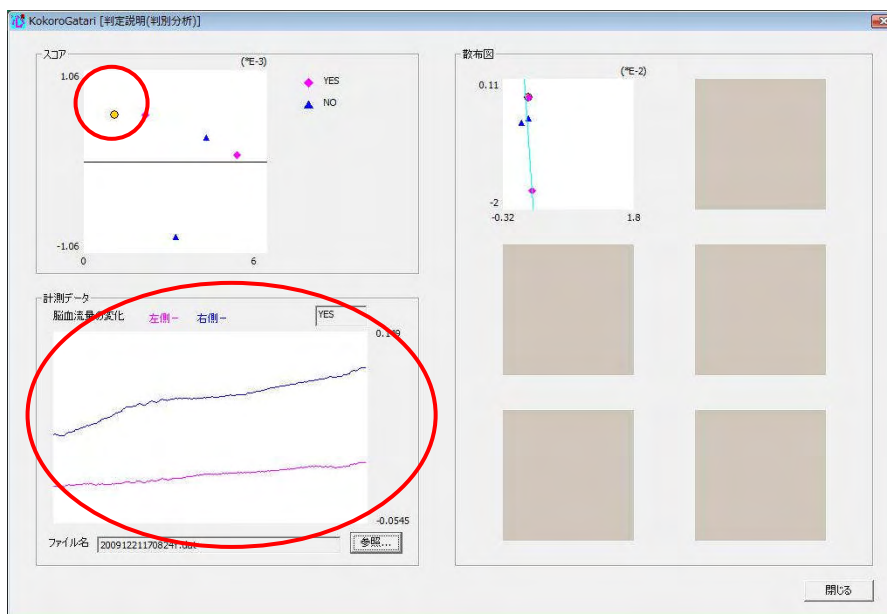


使用する計測データを選択して開く。ファイル名はデータ計測した日時になる。また、YES サンプルは末尾に Y,NO サンプルは末尾に N がつく。

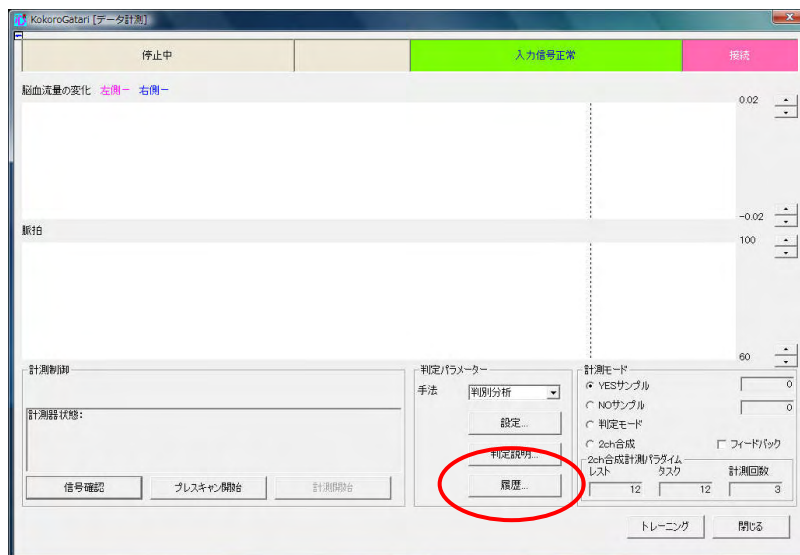


選択した計測データのグラフと、現在の設定における判定が表示される。また、スコア図に、選択した計測データのスコアが、黄色い点で表示される。



[判別分析手法の切り替え,削除をする]

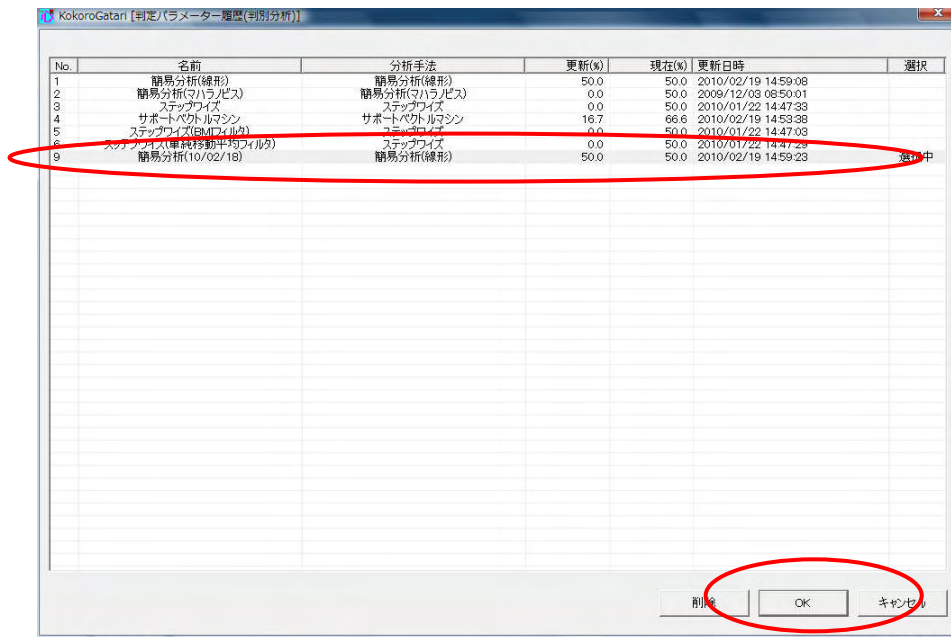
アクティブな判定分析手法の切り替え, 判定分析手法の削除を行うことができる. 履歴(判別分析)画面を開くには, データ計測画面において, 手法が「判別分析」の状態ですべての[履歴]を押す.



履歴(判別分析)画面を開くと, 以下のような画面が表示される. 青く表示 (またはグレー表示) されたものが現在選択されている判別分析手法である. この画面では, 各判別分析手法の正答率確認, 判別分析手法の切り替え, 判別分析手法の削除を行うことができる.

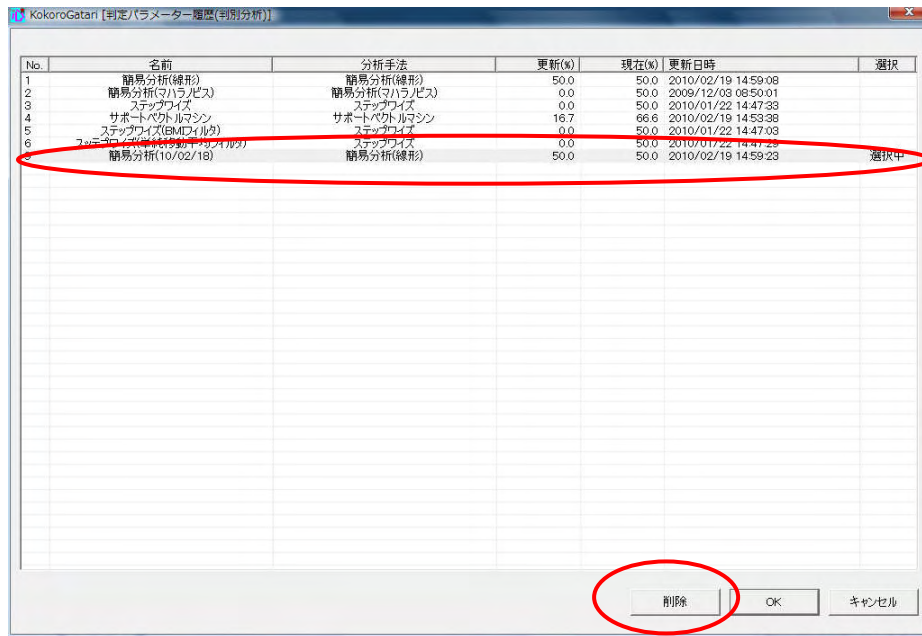
No	名前	分析手法	更新(%)	現在(%)	更新日時	選択
1	簡易分析(線形)	簡易分析(線形)	50.0	50.0	2010/02/19 14:59:08	
2	簡易分析(マハラビシ)	簡易分析(マハラビシ)	0.0	50.0	2009/12/08 08:50:01	
3	ステップワイズ	ステップワイズ	0.0	50.0	2010/01/22 14:47:33	
4	サポートベクターマシン	サポートベクターマシン	16.7	66.6	2010/02/19 14:53:36	
5	ステップワイズ(BMフィルタ)	ステップワイズ	0.0	50.0	2010/01/22 14:47:03	
6	ステップワイズ(単純移動平均フィルタ)	ステップワイズ	0.0	50.0	2010/01/22 14:47:29	
9	簡易分析(10/02/18)	簡易分析(線形)	50.0	50.0	2010/02/19 14:59:23	選択中

判別分析手法の切り替えは、選択したい判別分析手法をクリックすることで切り替えることができる。切り替えを保存する場合は[OK]、保存しない場合は[キャンセル]を押して、履歴(判別分析)画面を終了する。

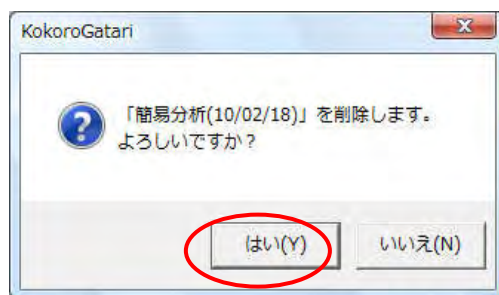


判別分析手法の削除は下記手順に従い行う。

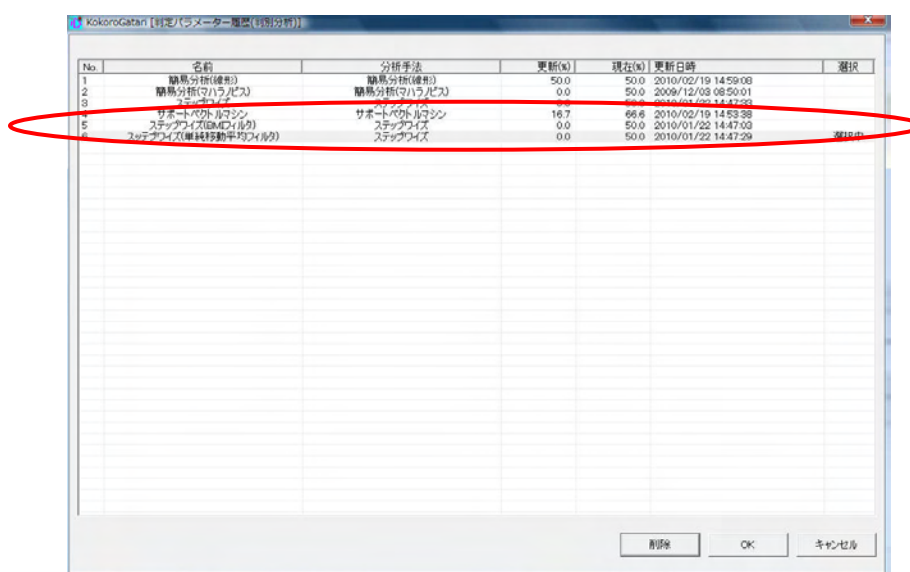
削除したい判別分析手法を選択し、[削除]を押す。



削除の確認画面が表示されるので、[はい]を押す。

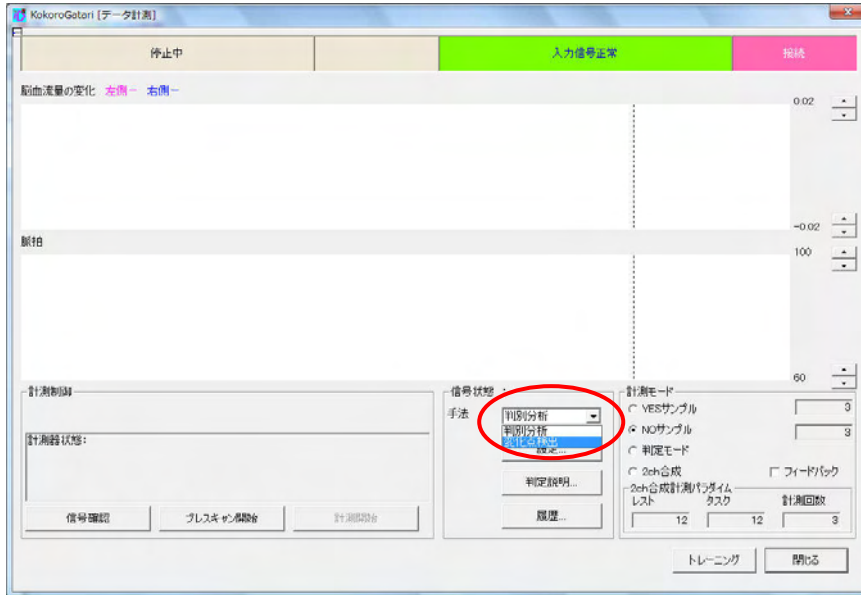


選択した判別分析手法が削除される。 [OK]を押して履歴(判別分析)画面を閉じる。



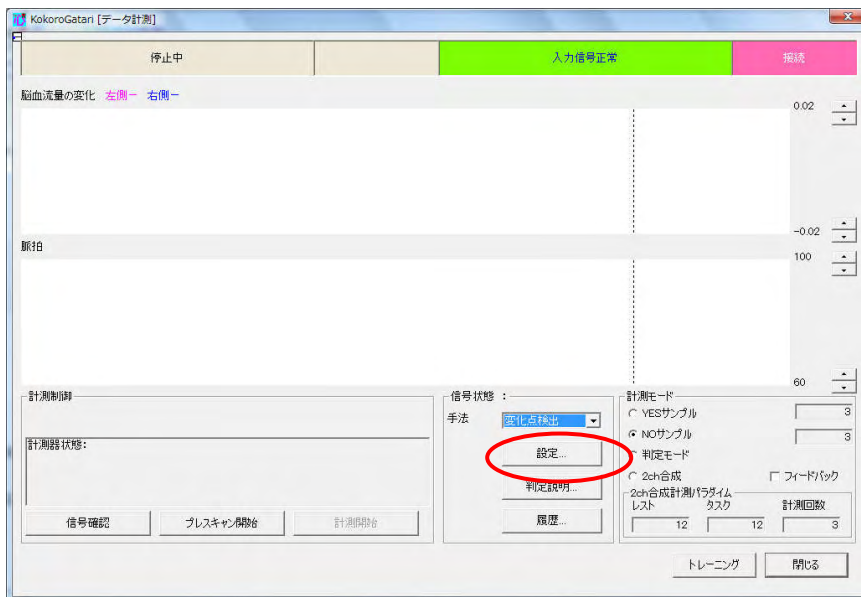
5. 変化点検出について

変化点検出での設定,判定説明など行うときは, データ計測画面のコンボボックスで変化点検出を選択する.



[変化点検出の設定をする]

変化点検出方法の設定を行うには, データ計測画面において, 手法が「変化点検出」の状態で[設定]を押し, 判定パラメータ設定(変化点検出)画面を表示する.



[変化点検出方法を選択する]

変化点検出方法選択コンボボックスから、使用する変化点検出方法を選択できる。

The screenshot shows the 'KokoroGatari' software interface for parameter setting. The main window is titled 'KokoroGatari [判定/パラメータ設定(変化点検出)]'. It features a graph on the left showing two data series (one in pink, one in blue) with a vertical line indicating a change point. Below the graph, there are radio buttons for '平均' (Average) and '個別' (Individual). A dropdown menu for '変化点検出方法' (Change point detection method) is highlighted with a red circle, showing the selected option '変化点検出, 計測データ(1)'. Below this, there are input fields for '合成時パラメータ' (Synthesis parameter) with '左' (Left) and '右' (Right) values set to 0.5, and an '自動計算' (Automatic calculation) button. At the bottom, there are fields for '下限閾値' (Lower threshold) at -0.4 and '上限閾値' (Upper threshold) at 0.4, along with '表示更新' (Update display) and 'フィルタ設定' (Filter setting) buttons. On the right side, there are sections for '表示区分' (Display classification) with checkboxes for '使用中' (In use) and '除外' (Exclude), '日付指定' (Date specification) with a date field set to 2010/02/19 and a '過去' (Past) field set to 0 days, and two tables for 'YESサンプル' (YES samples) and 'NOサンプル' (NO samples). The YES samples table has 3 rows, and the NO samples table has 3 rows. At the bottom right, there are buttons for '別名保存' (Save as) and '閉じる' (Close).

[変化点検出の設定画面で一覧表示するサンプルデータを指定する]

サンプルデータ一覧に表示する日数の指定を行うことができる。過去何日分表示するかを入力し、[リスト更新]を押す。0日分としたときは、当日のデータのみを表示する。

【フィルタ後データ】脳血流量の変化 YES:--- NO:---

表示区分
 使用中 除外

日付指定
本日: 2019/02/19 過去 0 日分 リスト更新

YESサンプル

No.	サンプルデータ	区分
1	20100219142715Y.dat	使用中
2	20100219143014Y.dat	除外
3	20100219144031Y.dat	除外

NOサンプル

No.	サンプルデータ	区分
1	20100219142745N.dat	使用中
2	20100219143123N.dat	除外
3	20100219144109N.dat	除外

合成時パラメータ
左: 0.5 右: 0.5 自動計算

下限閾値 -0.4 上限閾値 0.4 表示更新 フィル列設定

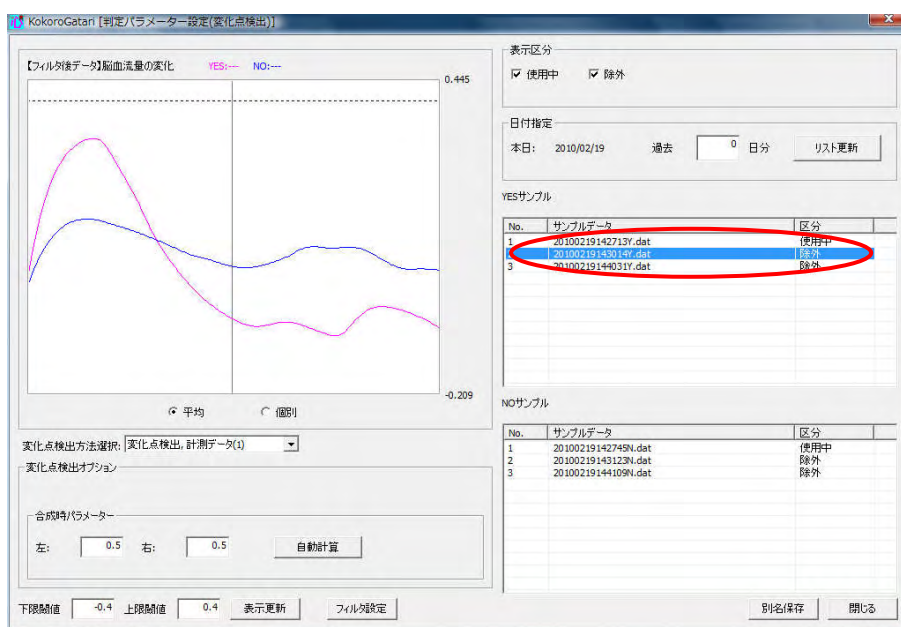
別名保存 閉じる

[サンプルデータの区分を変更する]

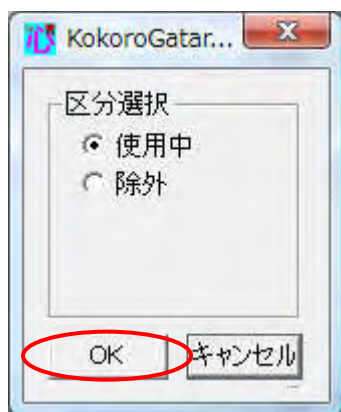
データ計測で取得した YES サンプル,NO サンプルデータは、区分がデフォルトで「判定依頼」になっている。区分を変更するには、下記手順に従い行う。

No.	区分	判定	説明
1	使用中	不使用	変化点検出では使用しない計測データ
2	除外	不使用	新規計測した計測データ。判定の対象にならない。

区分を変更するサンプルデータを選択し、ダブルクリックする。



区分選択画面が表示されるので、区分を選択して[OK]を押す。



区分選択を行ったサンプルデータは、一覧表示の区分が変更される。脳血流量の変化グラフの表示が自動更新される。

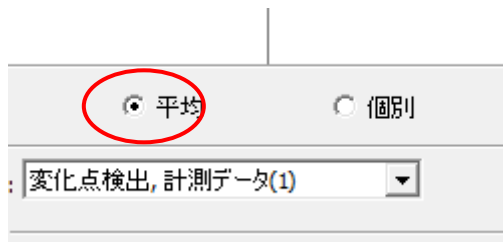
YESサンプル

No.	サンプルデータ	区分
1	20100219142713Y.dat	使用中
2	20100219143014Y.dat	使用中
3	20100219144031Y.dat	除外

[変化点検出のグラフに表示するデータを変更する]

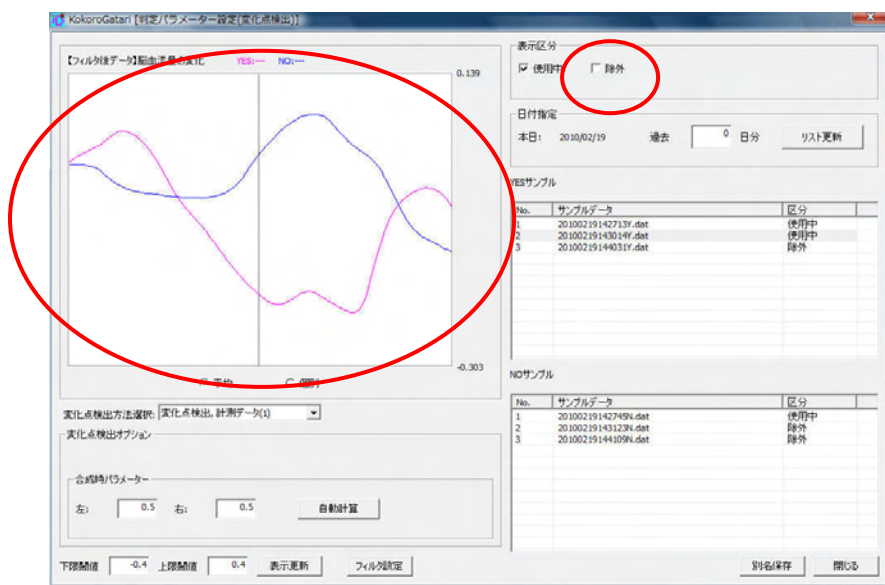
判定パラメータ設定(変化点検出)画面では、複数のサンプルデータの平均を表すグラフと、個別のサンプルデータを表すグラフを表示することができる。

複数のサンプルデータの平均を表すグラフを表示するには、ラジオボタンの[平均]を選択する。表示区分に含まれるすべてのサンプルデータの平均を表すグラフを表示する。



非表示にしたい表示区分がある場合、非表示にしたい表示区分のチェックを外す。チェックを外すと、グラフの表示が自動で更新される。

以下の画面は、表示区分の除外のチェックを外し、除外のサンプルデータを非表示にしたもの。



個別のサンプルデータのグラフ表示する場合は、ラジオボタンの[個別]を選択する。表示したいサンプルデータを選択すると、選択したサンプルデータのグラフが表示される。YES サンプル、NO サンプルからそれぞれ1つずつ選択することができる。

The screenshot shows the 'KokoroGatari' software interface. On the left, a graph displays '脳血流量の変化' (Change in Cerebral Blood Flow) with 'YES' and 'NO' data series. A red circle labeled '1' highlights the '個別' (Individual) radio button. On the right, there are two tables: 'YESサンプル' and 'NOサンプル'. Red circles labeled '2' and '2'' highlight the 'YES' and 'NO' sample tables respectively. The 'YES' table has 3 rows, with the second row selected. The 'NO' table has 3 rows, with the first row selected.

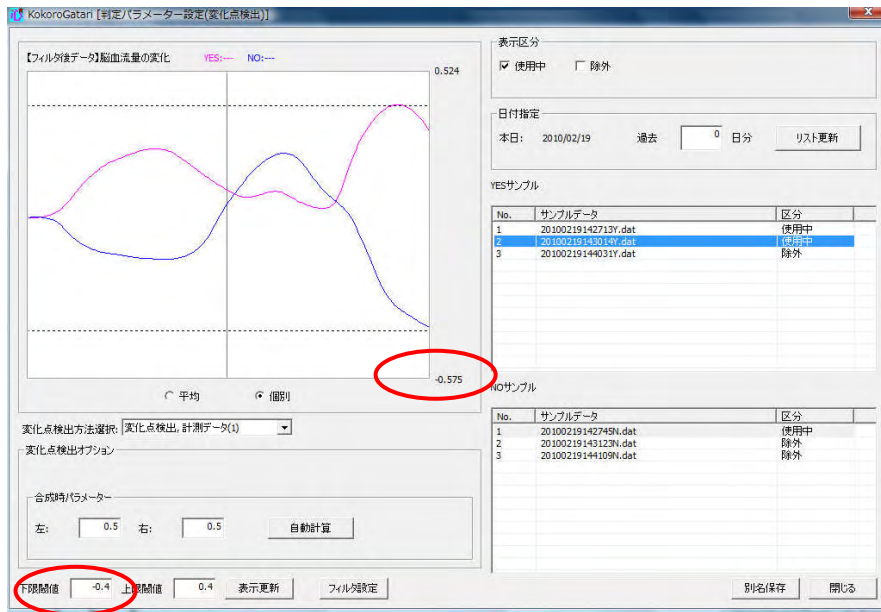
No.	サンプルデータ	区分
1	20100219142749N.dat	使用中
2	20100219144031Y.dat	除外
3	20100219144031Y.dat	除外

No.	サンプルデータ	区分
1	20100219142749N.dat	使用中
2	20100219144031Y.dat	除外
3	20100219144109N.dat	除外

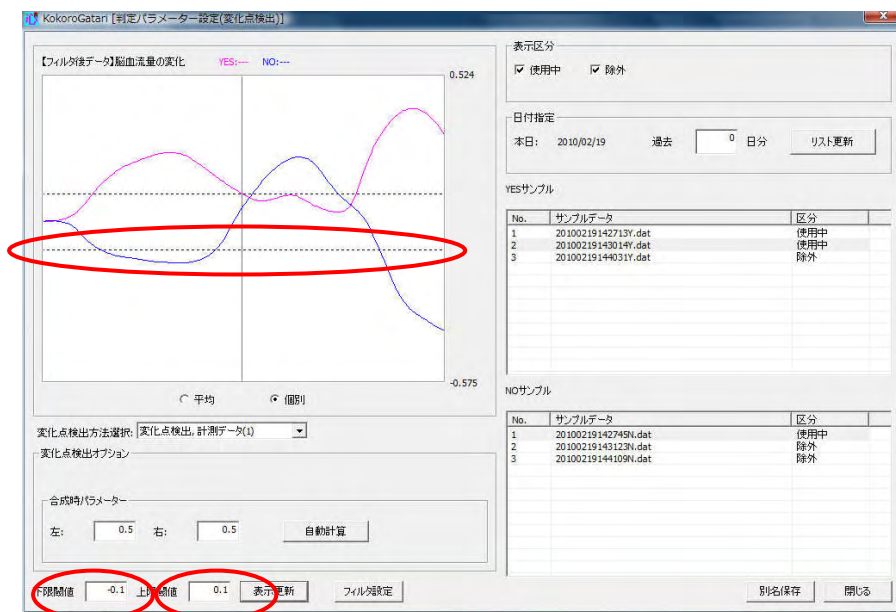
[変化点検出の閾値を変更する]

設定された閾値ではグラフ領域の閾値線が不適切であるとき、閾値を変更することができる。

以下の画面では、下限閾値が描画領域の下限値より小さいため、下限閾値線が描画されていない。このとき下限閾値の値を描画領域の値より大きくする。



[表示更新]を押すと、描画領域に下限閾値線が表示される。



1

2

[変化点検出のグラフ表示を更新する]

閾値等の変更を行ったとき、グラフ表示の更新は自動で行われない。値を入力したら、[表示更新]を押してグラフ表示を更新する。

The screenshot shows the 'KokoroGatari [判定パラメーター設定(変化点検出)]' window. The main area contains a line graph titled '【フィルタ後データ】脳血流量の変化' with a y-axis ranging from -0.575 to 0.524. The graph displays two data series: a blue line for '平均' (Average) and a pink line for '個別' (Individual). Below the graph, there are controls for '変化点検出方法選択' (Change point detection method selection) set to '変化点検出, 計測データ(1)', and '合成時パラメーター' (Synthesis parameter) with '左' (Left) and '右' (Right) values both set to 0.5 and an '自動計算' (Auto calculate) button. At the bottom, there are input fields for '下限閾値' (Lower threshold) at -0.1 and '上限閾値' (Upper threshold) at 0.1, followed by a red-circled '表示更新' (Update display) button and a 'フィルタ設定' (Filter setting) button. On the right side, there are sections for '表示区分' (Display classification) with checkboxes for '使用中' (In use) and '除外' (Exclude), '日付指定' (Date specification) with '本日' (Today) set to 2010/02/19 and '過去' (Past) set to 0 days, and two tables for 'YESサンプル' (YES samples) and 'NOサンプル' (NO samples). The YES samples table has 3 rows with columns for 'No.', 'サンプルデータ' (Sample data), and '区分' (Classification). The NO samples table also has 3 rows with the same columns.

No.	サンプルデータ	区分
1	20100219142713V.dat	使用中
2	20100219143014W.dat	使用中
3	20100219144031Y.dat	除外

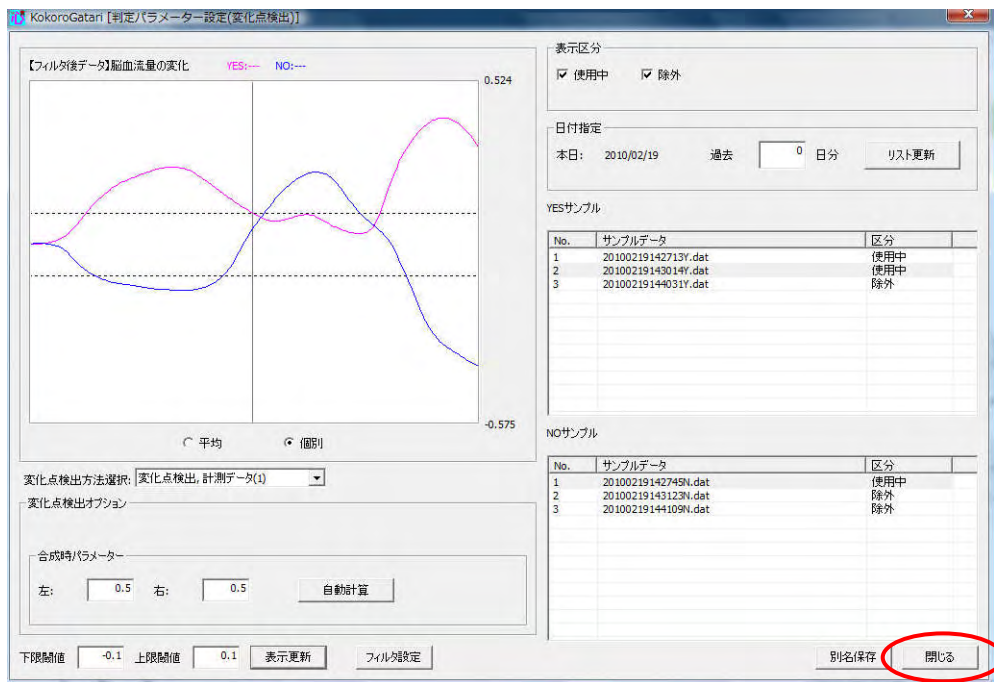
No.	サンプルデータ	区分
1	20100219142745N.dat	使用中
2	20100219143123N.dat	除外
3	20100219144109N.dat	除外

[変化点検出の設定を保存する]

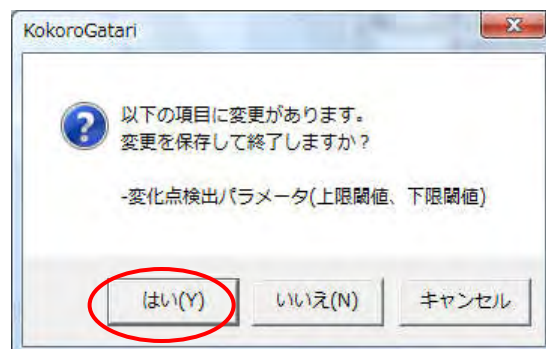
設定の保存は、上書き保存と別名保存がある。上書き保存は、既存の変化点検出方法のパラメータを変えるときに使う。別名保存は、同種類でパラメータの異なる変化点検出方法を作成するときを使う。

設定を上書き保存する場合

判定パラメータ設定(変化点検出)画面で設定を行ったのち、[閉じる]を押す。

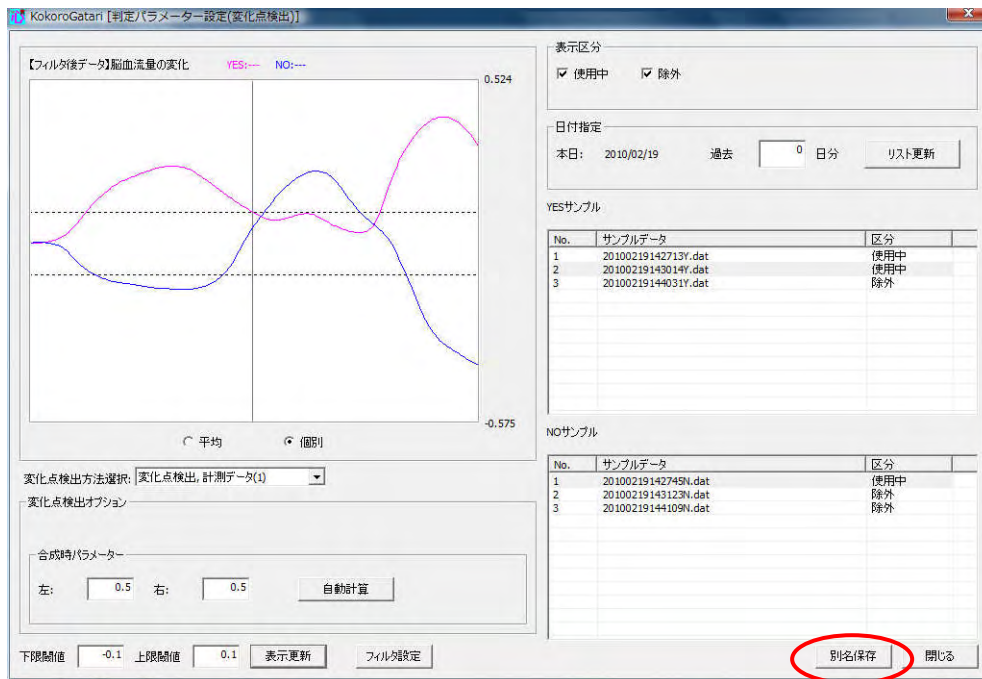


設定の変更があった場合、以下の画面が表示される。画面には変更された項目の一覧が表示される。[はい]を押すと設定が保存され、データ計測画面に戻る。

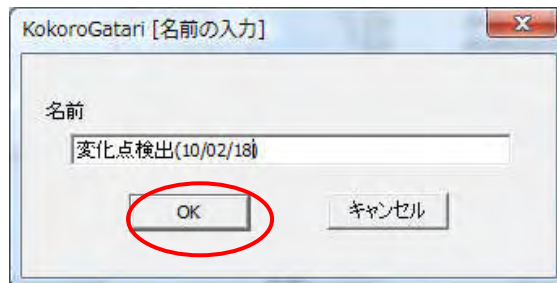


別名保存する場合

判定パラメータ設定(変化点検出)画面で設定を行ったのち、[別名保存]を押す。



保存する設定名の入力画面が表示されるので、テキストボックスに名前を入力し、[OK]を押す。

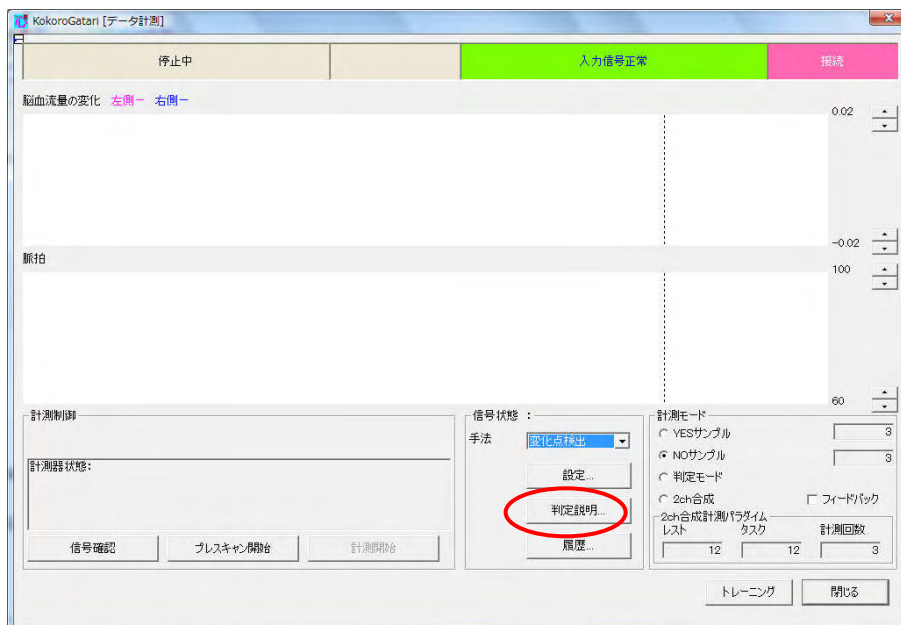


保存されると、以下の画面が表示されるので、[OK]を押す。

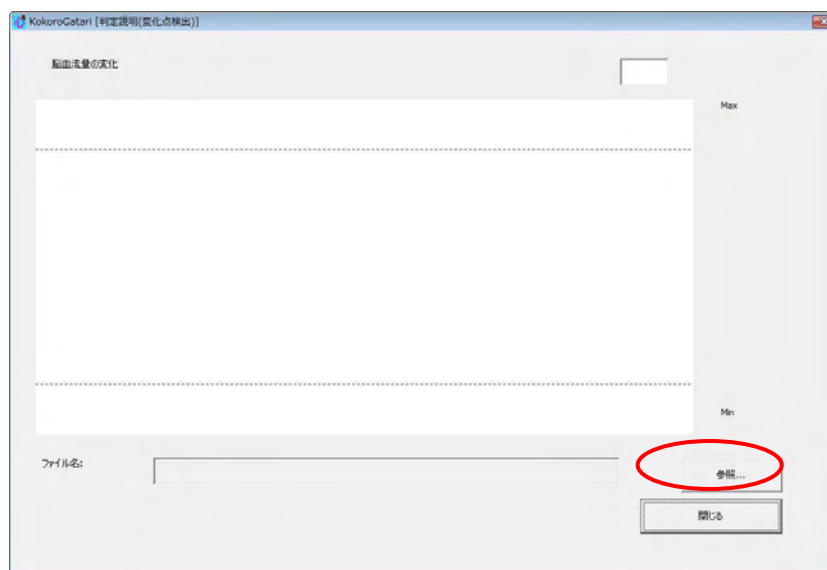


[変化点検出の判定説明を見る]

アクティブな変化点検出処理により、指定された計測データの描画を行う。判定パラメータ設定(変化点検出)画面を開くには、データ計測画面において、手法が「変化点検出」の状態ですべての[判定説明]を押す。

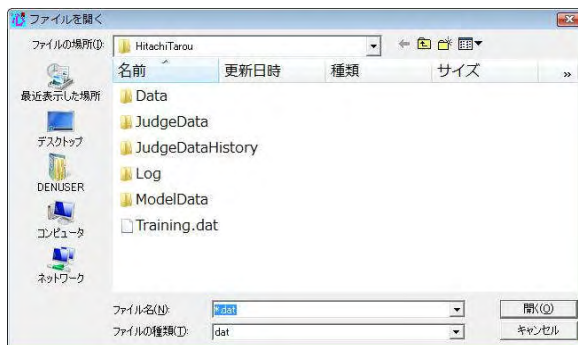


判定説明(変化点検出)画面を開くと、以下の画面が表示される。判定説明を見るには、[参照]を押して計測データを選択する。

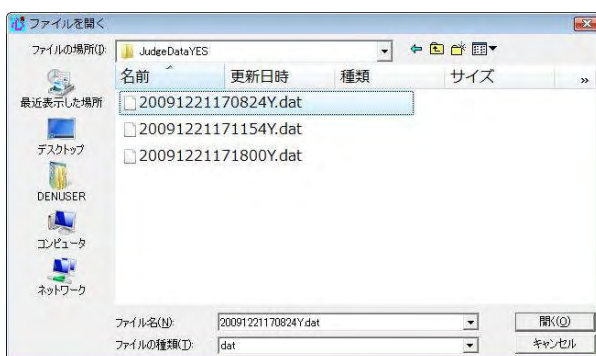


『心語り』のユーザフォルダが表示されるので、使用する計測データのあるフォルダを開く。

計測データは、 JudgeData フォルダ, JudgeDataHistory フォルダに保存される。



使用する計測データを選択して開く。ファイル名はデータ計測した日時になっている。また、YES サンプルは末尾に Y, NO サンプルは末尾に N がつく。



アクティブな変化点検出により、指定された計測データの描画が行われる。

